

「低圧進相コンデンサ」火災に注意!

令和5年中、佐賀市内でコンデンサ（低圧進相）から発火する火災が発生しました。



低圧進相コンデンサとは?

電圧200V~600Vで受電している工場や飲食店で、モーターを稼働する設備や店舗用冷蔵庫等の消費電力を抑える機器として、1940年(昭和15年)頃から配電盤に設置されたものです。



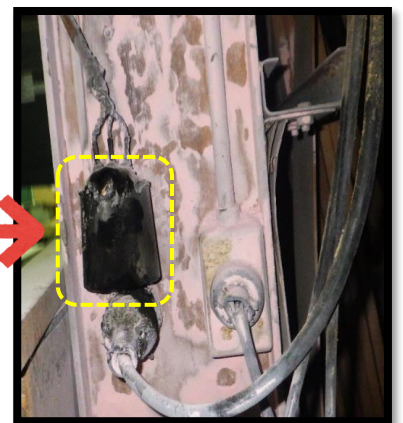
いつ頃発生しているの?

梅雨による湿度の上昇や気温の上昇によって、コンデンサの絶縁劣化が進むため、特に梅雨時季から夏にかけて多く発生していることが推測されます。

予防できること

- ・始業時、終業時に点検する。
- ・設備などを使用しない時は、メインブレーカーを切り、電圧がかからないようにする。
- ・1975年(昭和50年)以前に製造された製品には、「保安装置」が内蔵されていないため、使用を停止する若しくは交換する。
- ・設置から10年が経過しているものは、専門業者による点検を受ける。

実際に
出火した
低圧
進相
コンデンサ



佐賀広域消防局



ホームページ



Facebook

問い合わせ

佐賀消防署 0952-33-6773 多久消防署 0952-75-2191

南部消防署 0952-45-6442 北部消防署 0952-62-3442

小城消防署 0952-66-1541 神埼消防署 0952-52-3291